

留学生と日本人が混住するシェアハウス型の宿舎

基本情報

大学名：九州工業大学
 建物名：スチューデント・レジデンス
 工期：平成22年10月～平成23年3月
 構造・階数：RC・地上5階
 延床面積：1,285㎡
 事業費（設計費含む）：128,625千円



建物外観



ダイニングキッチン

整備の方向性

○グローバルな人材を日常生活から育む

- 九州工業大学の飯塚キャンパスは、昭和62年のキャンパス開設時から学生寮が整備されておらず26年が経過した。その間、大学院の設置、センターの設置等があり学生数・留学生数が増加し現在約1,900人の学生が生活している。
- 近隣に学生用のアパート等があるが、家賃が高価等であることから、学生寮の要求が挙がっていた。
- 留学生についても「留学生30万人計画」の趣旨に則り世界から優秀な留学生を呼び入れると同時に、日本人学生に対するグローバル人材育成教育を行うことを目的とした宿舎が求められたため、入居率の低い教職員宿舎（5棟ある内の1棟）を留学生と日本人が混住するシェアハウス型の宿舎「混住型留学生宿舎（スチューデント・レジデンス）」として整備した。

計画・設計上のポイント

○職員宿舎のコンバージョン

- 職員宿舎1住戸を3人が一緒に住むことができる3DKの部屋に改修。
- 利用者の誰もが安心・安全、快適に利用できるユニバーサル・デザインを採用。
- 様々な行事に対して、インテリジェント化を含め、適宜柔軟に対応できる計画。

○施設水準の向上

- 省エネルギー、自然エネルギーの活用など、施設・運営・廃棄に至るまでのライフサイクルを通じた環境負荷の低減と、ランニングコストに配慮した。

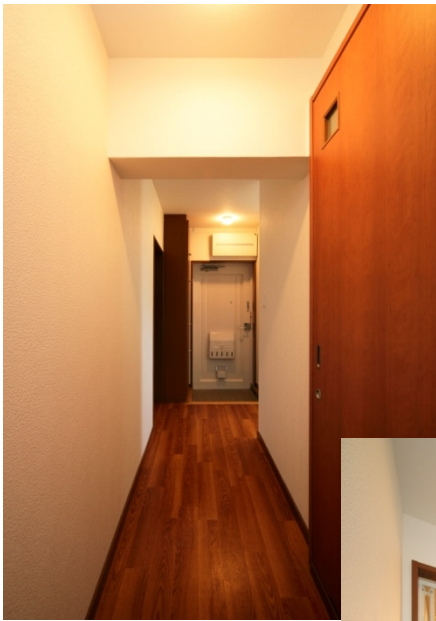
○設計プロセス・推進体制

- 建築担当・電気設備担当・機械設備担当の設計チームと設計事務所で、ユーザーとのヒアリングを繰返し行うことで、要望に応じた設計を進めて行った。

Before



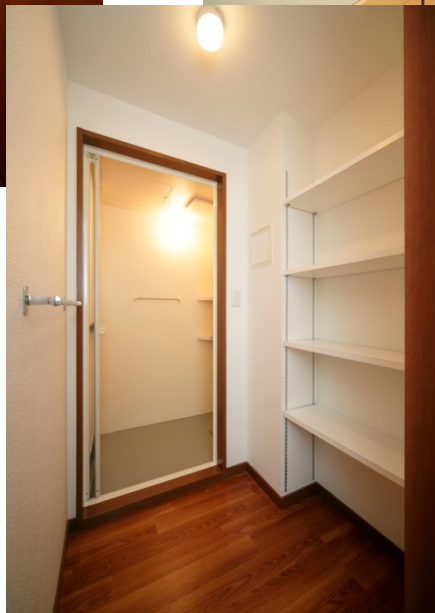
After



玄関



個室



シャワー・脱衣室



洗面所

■ 目的

- 留学生への安価な住居の提供
- 生活習慣を理由とした民間住居への入居難の解消
- 国の留学生30万人受入れ計画

■ 改修内容

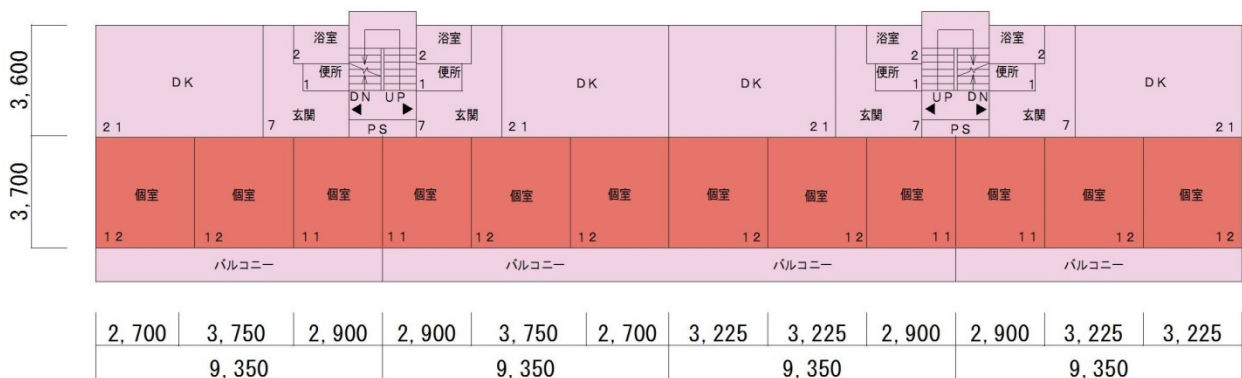
- 職員宿舎第一アパート

昭和62年建設（建設後24年）R5 1,285㎡

3DK 20室 64.2㎡/戸

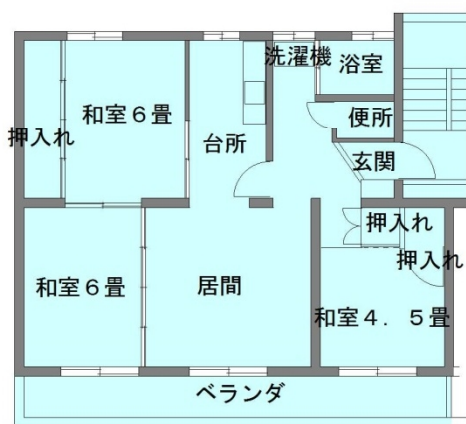


留学生宿舎：3人のルームシェア形式/戸に改修

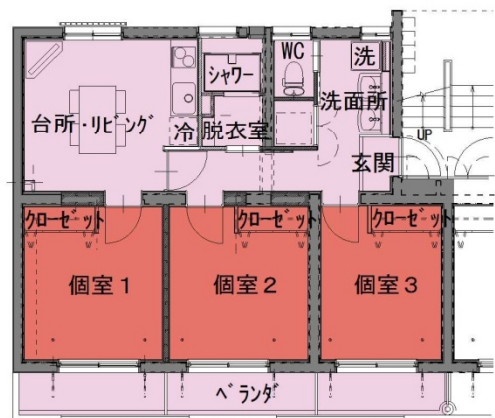


改修平面図

職員宿舎第一アパート 平面図 S=1/300



改修前 平面詳細図 S=1/200



改修後 平面詳細図 S=1/200

施設整備の効果

○国際交流を育む学生寮の拡充

- ・ スチューデント・レジデンスは、大学院生を中心に外国人留学生及び日本人学生等に居住の場を提供し、併せて留学生及び日本人学生との国際交流の促進を図ることを目的として設置した。
- ・ 1戸3LDKを留学生2人と日本人1人でルームシェアするというもので、3LDKの3室が個室、LDKが共有空間となり、適度にプライベートを保ちながら、生活を共にすることができる。
- ・ この施設で暮らすことにより、日常の生活の中で外国語に触れることができ、外国の文化や習慣に対する理解も深まる。
- ・ 学生の海外留学派遣者数の増（H22(157人)に比べてH26(393人)は277人増）

○さらに留学生を増加させる効果が期待できる

- ・ 留学生用宿舎が足りないことが留学生を呼び込めない理由の一つとなっており、大学が運営する安価な留学生用の宿舎を備えておくことは、留学生（特に私費留学生）を呼び入れる効果が期待できる。
- ・ 留学生2名と日本人学生1名が3DKの部屋に一緒に住むことを基本とするシェアハウス型とするため、留学生にとっては日常的な日本語能力を養う効果があり、日本人学生にとっては国際感覚を身に付けコミュニケーション能力を養う効果がある。
- ・ 外国からの留学生数の増（H22(192人)に比べてH27(259人)は67人増）

○国際力の強化の実績

- ・ 「国際社会において機能する教育」として、H21より「国際先端情報科学者養成（IIF:International Informatics Frontier）プログラム」を学科横断型で実行し、海外留学、系統的な英語教育や日本の伝統文化教育、コミュニケーションを高める教育などを実施している。「産業界において機能する教育」としては、H22年より、企業や社会にある現実の課題を企業と協働して解決するための「需要創発コース」を実施している。「複雑・多様化に対応する教育」として、能動型学習（アクティブラーニング）教育やグループワーク学習教育を実施している。
- ・ 国際交流協定校の増（H22(57校)に比べてH26(92校)は35校増）



ダイニングキッチン



個室